

## 地域を元気にする図書館を考える ～住民の満足度が高い図書館のサービス、環境とは？ データをもとに専門家と考察しよう～

株式会社アール・ピー・アイは、図書館界の皆様とともに、地域をさらに盛り上げていくため、2023年も図書館総合展に出展しました。今年も、全国10万人を対象に当社が毎年実施している大規模調査「地域元気指数調査」でわかった、図書館に対する住民満足度が高い自治体（全国の市町村を人口規模別に5グループに分け、同規模グループにおいて上位20位以内）の主要な図書館に対し、実際の利用者サービスについてのアンケートを実施しました。この結果をきっかけに、これからの図書館のあり方について、図書館をはじめとする社会教育施設に造詣の深い専門家をパネリストに迎え、参加者の皆様とともに考えました。

※このレポートは2023年11月6日に実施したフォーラム内容をRPIがまとめたものです。

### ー パネリスト ー



#### 守屋 慎一郎 氏

合同会社企画室 代表  
スパイラル/株式会社ワコールアート  
センタープランナー  
イベント学会理事・副事務局長

1972年、熊本県生まれ。展覧会、アートフェスティバル、文化施設の管理運営など、現代アートを軸に、地域活性化事業、都市開発事業のプランニング、プロデュースに取り組む。太田市美術館・図書館では、運営基本計画・実施計画・総合ディレクションを担当。ほかに、横浜市「象の鼻テラス」運営計画、松山市「道後オンセナート2014」実施計画及びアートプログラム企画制作など実績多数。



#### 花井 裕一郎 氏

演出家、  
一般社団法人日本カルチャーデザ  
イン研究所理事長

1962年、福岡県生まれ。テレビ番組演出経験を活かし、図書館を中心としたまちづくりの演出、人が集いワクワクする空間づくりを行っている。2009年から2012年まで初代館長を務めた小布施町立図書館まちとしょテラソは、Library of the Year 2011大賞を受賞。太田市美術館・図書館では図書ディレクターとして、準備段階から図書事業の構築を担当。その他、図書館やまちづくりに関するアドバイザーやワークショップ講師等の実績多数。全国の図書館づくり、まちづくりに携わる。

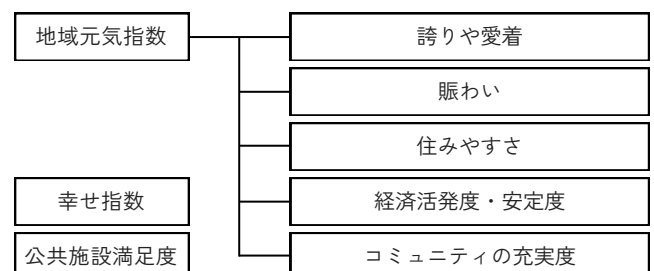
## 1. はじめに

### 地域元気指数調査について

全国には、気候風土に根ざした暮らし、住人が誇りと愛着を感じる情景など、その土地ならではの個性や特徴もつ多様な地域が形成されています。株式会社アール・ピー・アイは、全国に多様で活気にあふれた地域が存在し続けることこそが、日本の魅力と豊かさを支え、これからの社会の元気や幸福をつくると考え、地域の元気を増幅できるような施策や取組を明らかにし、地域の元気や個人の幸福度を高めることを目的に「地域元気指数調査」を2016年より毎年実施しています。

この調査では、回答者に自分の地域の元気はどのくらいか、10点満点で評価してもらいます（地域元気指）。さらに5つの分野を設定し、各分野に紐づいた50の指標について、それぞれ当てはまると感じるかどうか、5段階で評価してもらいます。また、回答者自身がどのくらい幸せだと思うか、10点満点で評価してもらいます（幸せ指数）。さらに、2022年からは、自分の地域の公共施設の満足度についても評価してもらっています。

図1. 地域元気指数調査



公共施設満足度のうち、地域の「図書館の満足度」について、下記の項目を住民に聴取しました。

#### 図書館に対する満足度の設問

あなたが暮らしている地域について、どの程度当てはまりますか。お考えに近いものを選んでください。  
(単一回答)

#### 【図書館に満足している】

- 当てはまる
- やや当てはまる
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない
- どちらともいえない

### 図書館の満足度が高い自治体

「図書館に対する満足度」が高かった自治体を、人口規模別に5区分（30万人以上市、10万人以上市、5万人以上市町、3万人以上市町村、1万人以上市町村）に分け、それぞれの人口規模において、「当てはまる」・「やや当てはまる」の合計が多かった市町村上位20位までをランキングしました。なお、地域元気指数調査は市町村を対象としているため、複数の図書館が市町村内にある場合は、特定の図書館ではなく、市町村内にある図書館全体への評価となります。

図書館の満足度の全国平均では、10万人に対し、34%が満足していると回答しています。

**30万人以上市**ではこれに対し、「図書館に対する満足度」が最も高かった兵庫県明石市の場合は、52%が図書館に満足しているという回答でした。2位以下は大阪府高槻市（49.3%）、神奈川県藤沢市（49.0%）、石川県金沢市（48.1%）、愛知県豊田市（47.4%）との結果となりました（表1）。

**10万人以上市**で満足度が最も高かったのは東京都武蔵野市で、67.3%が満足しているという回答でした。2位以下は千葉県浦安市（58.4%）、愛知県小牧市（58.0%）、東京都府中市（56.5%）、神奈川県大和市（52.3%）でした（表2）。

**5万人以上市町**で満足度が最も高かったのは長崎県大村市で、71.2%が満足しているという回答でした。2位以下は宮城県多賀城市（59.8%）、熊本県合

志市（59.8%）、長野県塩尻市（57%）、茨城県守谷市（55.3%）でした（表3）。

**3万人以上市町村**で満足度が最も高かったのは兵庫県小野市で、60.9%が満足しているという回答でした。2位以下は北海道音更町（59.3%）、熊本県菊陽町（57.9%）、茨城県東海村（57.3%）、奈良県田原本町（57.0%）でした（表4）。

**1万人以上市町村**で満足度が最も高かったのは岡山県早島町で、74.2%が満足しているという回答でした。2位以下は佐賀県基山町（70.3%）、三重県朝日町（66.3%）、滋賀県愛荘町（65.2%）、北海道芽室町（59.7%）でした（表5）。

なお、全体的な傾向として、図書館の満足度が高い自治体は、元気指数も高いことが分かりました。

表1. 30万人以上市のランキング

グループ内順位	市町村名	サンプル数	元気指数	割合(%)
	全国平均	100000	5.67	34.0
1位	兵庫県明石市	194	6.52	52.0
2位	大阪府高槻市	180	6.18	49.3
3位	神奈川県藤沢市	161	6.40	49.0
4位	石川県金沢市	152	6.08	48.1
5位	愛知県豊田市	160	6.10	47.4
6位	大阪府枚方市	213	6.14	46.7
7位	東京都東京23区	408	6.22	45.5
8位	大阪府吹田市	230	6.34	44.7
9位	愛知県岡崎市	194	5.81	43.3
10位	兵庫県西宮市	226	6.59	42.7
10位	福岡県久留米市	100	5.40	42.7
12位	大阪府豊中市	153	6.02	42.6
13位	埼玉県さいたま市	249	5.85	41.2
14位	神奈川県川崎市	141	6.19	40.5
15位	埼玉県川口市	235	5.89	40.0
16位	富山県富山市	128	5.38	39.6
17位	兵庫県神戸市	149	6.01	39.1
18位	愛知県一宮市	214	5.58	38.8
19位	埼玉県川越市	160	6.00	38.7
20位	福岡県福岡市	123	6.60	38.6

- 図書館に満足している」に対し、「当てはまる」・「やや当てはまる」と回答した人の割合によるランキング。
- 市は50件以上、町村は20件以上のサンプル数の集まった825市町村をランキング対象としている。

表2. 10万人以上市のランキング

グループ内順位	市町村名	サンプル数	元気指数	割合(%)
	全国平均	100000	5.67	34.0
1位	東京都武蔵野市	188	6.70	67.3
2位	千葉県浦安市	206	6.51	58.4
3位	愛知県小牧市	199	5.81	58.0
4位	東京都府中市	241	6.37	56.5
5位	神奈川県大和市	214	5.48	52.3
6位	奈良県生駒市	203	6.21	52.0
7位	愛知県刈谷市	180	6.46	51.8
8位	兵庫県三田市	190	5.84	51.7
9位	北海道北見市	150	5.45	51.4
10位	大阪府箕面市	169	6.42	51.3
11位	兵庫県伊丹市	254	6.16	51.1
12位	大阪府茨木市	242	6.06	50.6
13位	大阪府和泉市	179	6.14	49.8
14位	神奈川県海老名市	191	6.62	48.4
15位	愛知県安城市	193	5.97	48.1
16位	愛媛県西条市	142	5.90	47.8
17位	東京都昭島市	186	5.85	47.6
17位	東京都多摩市	232	5.74	47.6
19位	東京都調布市	188	6.05	47.5
20位	長崎県諫早市	121	5.40	47.1

表4. 3万人以上市町村のランキング

グループ内順位	市町村名	サンプル数	元気指数	割合(%)
	全国平均	100000	5.67	34.0
1位	兵庫県小野市	53	5.81	60.9
2位	北海道音更町	73	6.04	59.3
3位	熊本県菊陽町	62	7.22	57.9
4位	茨城県東海村	84	6.26	57.3
5位	奈良県田原本町	57	5.62	57.0
6位	愛知県幸田町	64	6.41	56.2
7位	千葉県匝瑳市	51	4.67	55.0
8位	香川県善通寺市	72	5.13	53.1
9位	兵庫県加東市	59	5.51	52.6
10位	兵庫県播磨町	93	5.71	52.2
10位	岡山県赤磐市	82	5.16	52.2
12位	京都府精華町	113	6.01	51.4
13位	奈良県広陵町	59	5.94	51.2
14位	福岡県宇美町	70	5.14	50.6
15位	山形県東根市	66	5.93	49.2
15位	埼玉県宮代町	60	5.36	49.2
17位	富山県砺波市	69	5.53	48.3
18位	宮城県利府町	90	6.56	47.3
18位	大阪府熊取町	70	5.92	47.3
20位	群馬県玉村町	67	5.57	47.0
20位	埼玉県三芳町	92	5.47	47.0

表3. 5万人以上市町のランキング

グループ内順位	市町村名	サンプル数	元気指数	割合(%)
	全国平均	100000	5.67	34.0
1位	長崎県大村市	138	5.94	71.2
2位	宮城県多賀城市	110	5.45	59.8
2位	熊本県合志市	80	6.39	59.8
4位	長野県塩尻市	129	5.51	57.0
5位	茨城県守谷市	128	6.47	55.3
6位	愛知県長久手市	157	7.20	55.2
7位	愛知県大府市	213	6.25	54.9
8位	滋賀県守山市	166	5.97	53.6
9位	石川県野々市市	155	6.55	53.1
10位	千葉県袖ヶ浦市	100	5.73	52.5
11位	愛知県日進市	196	6.39	51.7
12位	福島県白河市	100	5.00	51.0
13位	兵庫県芦屋市	167	6.33	50.7
14位	熊本県荒尾市	78	5.18	48.7
15位	千葉県白井市	118	5.84	48.5
16位	北海道石狩市	124	5.52	48.2
17位	京都府長岡京市	193	6.11	48.0
18位	東京都稲城市	251	5.86	46.9
19位	福岡県宗像市	158	6.03	46.8
20位	愛知県田原市	122	5.70	46.5

表5. 1万人以上市町村のランキング

グループ内順位	市町村名	サンプル数	元気指数	割合(%)
	全国平均	100000	5.67	34.0
1位	岡山県早島町	20	5.93	74.2
2位	佐賀県基山町	25	6.11	70.3
3位	三重県朝日町	20	6.68	66.3
4位	滋賀県愛荘町	25	6.04	65.2
5位	北海道芽室町	26	6.12	59.7
6位	長野県御代田町	23	5.68	58.8
7位	神奈川県二宮町	55	5.19	58.5
8位	奈良県斑鳩町	53	5.54	57.1
9位	長崎県佐々町	21	5.80	56.7
10位	愛媛県砥部町	37	5.21	55.7
11位	群馬県邑楽町	36	5.22	55.0
11位	香川県綾川町	28	5.58	55.0
13位	沖縄県北谷町	26	7.02	54.1
14位	長野県南箕輪村	21	7.06	53.7
15位	沖縄県北中城村	35	6.50	53.2
16位	山梨県昭和町	34	6.93	51.2
17位	奈良県大淀町	26	4.93	50.7
18位	福島県矢吹町	20	5.23	50.5
19位	徳島県板野町	22	5.66	49.8
20位	広島県熊野町	43	5.74	48.8

## 2. 図書館へのアンケート

### 図書館の満足度が高い自治体の図書館へのアンケート

#### ●アンケートの対象

各人口規模別に上位20位までの自治体に所在する主要な図書館を対象に、「図書館の満足度に関するアンケート」を実施しました（実施期間：2023年9月6日～30日）。

なお、東京都23区に関しては、図書館運営は各区別に行われているものの、地域元気指数調査では、23区を一体として聴取しているため、今回のアンケートの対象からは除いています。

#### ●アンケートの設計

2022年にアール・ピー・アイが実施した図書館総合展のフォーラムでは、「地域元気指数調査」の評価指標として設定している5つの分野、「誇りや愛着」、「賑わいや活気」、「使いやすさ」（地域元気指数調査においては「住みやすさ」）、「地域経済貢献」（地域元気指数調査においては「経済活発度・安定度」）、「コミュニティづくり」を用いて、図書館元気指数（仮）のアイデアとして、図書館の活動の指数となるキーワードをパネリスト、参加者から出していただきました（詳細はアール・ピー・アイのウェブサイトに掲載している2022年図書館総合展レポート「[地域を元気にする図書館を考える](#)」をご覧ください）。

2022年のフォーラムでの検討結果をアール・ピー・アイで、各分野5つの指標にまとめました。2022年調査において地域の「図書館の満足度」で上位の図書館に対し、これらの25項目について、「とても当てはまる」、「やや当てはまる」、「どちらとも言えない」、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」、で回答を得ました。

あわせて、図書館満足度で、自治体が上位となったことへの感想や、とくに注力している取組・サービスについても聴取しました。

#### ●アンケートの結果

100市町村（114館）にアンケートを依頼し、44市町村（46館）からの回答がありました。p5以降、パネリストのお二人のご意見も交えながら、指標へのコメントをまとめています。

## 5視点、25の聴取指標

### 誇りや愛着につながる視点

1. 図書館スタッフ・司書が適切にアドバイスを提供している
2. 地域の活動団体や地域の学校との連携がある
3. 郷土資料等、地域関連の資料が充実している
4. 地域に関わる様々な情報が広く深く集まっている
5. まちのシンボルとして自慢できる建築である

### 賑わいや活気につながる視点

1. 用事がなくても行きたくなる居心地のいい場所である
2. 幅広い年齢層を対象としたイベントや講座が充実している
3. おしゃれなカフェが併設している
4. 地域のイベントで図書館が中核的な役割を果たしている
5. 多様な目的や、多様なジャンルの趣味をもつ人が集まっている

### 使いやすさにつながる視点

1. 安心安全が確保された場所である
2. どんな人でも快適に利用できる
3. 利用のシステムが分かりやすい
4. 施設内が綺麗で明るく、机や椅子が快適で、照明などの雰囲気がよい
5. 遅くまで開館している

### 地域経済貢献につながる視点

1. フリーWiFiや電源などの環境・設備が整っており、ビジネスでも利用できる
2. 地域の経済人の講座など、ビジネスが生まれる交流の場がある
3. ビジネスに関わるアドバイスができるライブラリアンがいる
4. 図書館周辺のお店も活性化している
5. 稼げる図書館になっている

### コミュニティづくりの視点

1. すべての子どもにとって居場所になっている
2. 多世代が開放的に交流できる場所になっている
3. 地元団体やボランティアが図書館と連携して活動している
4. 読み聞かせが充実している
5. 色々な人が図書館を使って表現できる場所や機会がある

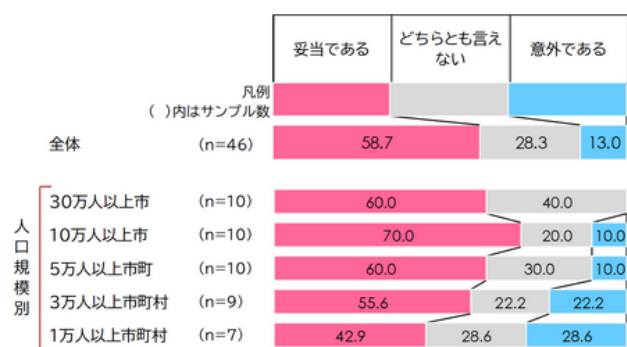
### 3. アンケート結果概要

（ここからは、フォーラム当日のパネリストのコメントを交えながら紹介します。）

#### 住民の図書館満足度で上位となったことへの感想

今回、図書館の満足度において上位となったことに対し、どう感じているかを「妥当である」、「どちらとも言えない」、「意外である」の3択で各館にお聞きしました。その結果、全体では「妥当である」が約6割、人口規模別では10万人以上市で7割の結果となりました（図2）。

図2. 住民評価の「図書館の満足度」への妥当性



**RPI** 「妥当である」というのはやや強い表現なので、「納得感がある」と解釈してもらえたら良いかと思います。人口規模によって多少の違いはありますが、各図書館が自信やプライドを持って日頃のサービスを行っておられることがうかがえます。また「意外である」というのは「嬉しい意外」なのではないでしょうか。

**守屋** とくに10万人以上30万人未満の規模の自治体は、各自治体の特徴が強く出やすいのかもしれない。

**花井** 分館の有無なども関係があるかもしれませんが、とはいえ、一生懸命運営されている館が上位となっているのではないのでしょうか。実際、図書館運営は評価される機会が少なく、今回、利用者限定せず住民からの評価で上位となったことは、まさに「嬉しい意外」だと思いますね。

**守屋** 従来の図書館の指標であった、蔵書や施設の規模とは異なる評価という点もポイントです。

#### 25指標の全体結果

回答のあった全46館に対し、25指標の全体を概観してみると、5つの視点ごとに「とても当てはまる」・「やや当てはまる」の割合が異なることがわかります。「とても当てはまる」・「やや当てはまる」とした回答がとくに多かったのは「誇りや愛着につながる視点」で、とくに少なかったのは「地域経済貢献につながる視点」でした（図3）。

**守屋** 今回のアンケート全体について言えば、わたしが活動しているアート業界も含めて、公共施設の事業評価は課題だと感じます。美術館でも、図書館でも、自分たちの事業をどう評価するのかが頻りに議論されていると思います。その点では、今回の住民評価の結果と、図書館の自己評価を比較するというのは面白いのではないのでしょうか。

#### 25指標ごとの結果

25の指標を個別に見ると、「とても当てはまる」・「やや当てはまる」の計が高かったのは、「図書館スタッフ・司書が適切にアドバイスを提供している（誇りや愛着）」（93.5%）、「地域の活動団体や地域の学校との連携がある（誇りや愛着）」（91.3%）、「どんな人でも快適に利用できる（使いやすさ）」（91.3%）、「地元団体やボランティアが図書館と連携して活動している」（91.3%）、「読み聞かせが充実している」（93.5%）といった指標となりました。

一方、「地域の経済人の講座など、ビジネスが生まれる交流の場がある」（26.1%）、「ビジネスに関わるアドバイスができるライブラリアンがいる」（23.9%）、「図書館周辺のお店も活性化している」（26.1%）、「稼げる図書館になっている」（13.0%）は「とても当てはまる」・「やや当てはまる」の計が低く、これらはいずれも「地域経済貢献につながる視点」の指標でした（図4）。

**RPI** 「地域経済貢献につながる視点」の「稼げる図書館になっている」については、ビジネス支援の観点だけでなく、図書館自体の持続可能性や独立性を担保するために、図書館自体が収益源を持つことも昨年のフォーラムでは議論になりました。

図3. 25指標の全体結果

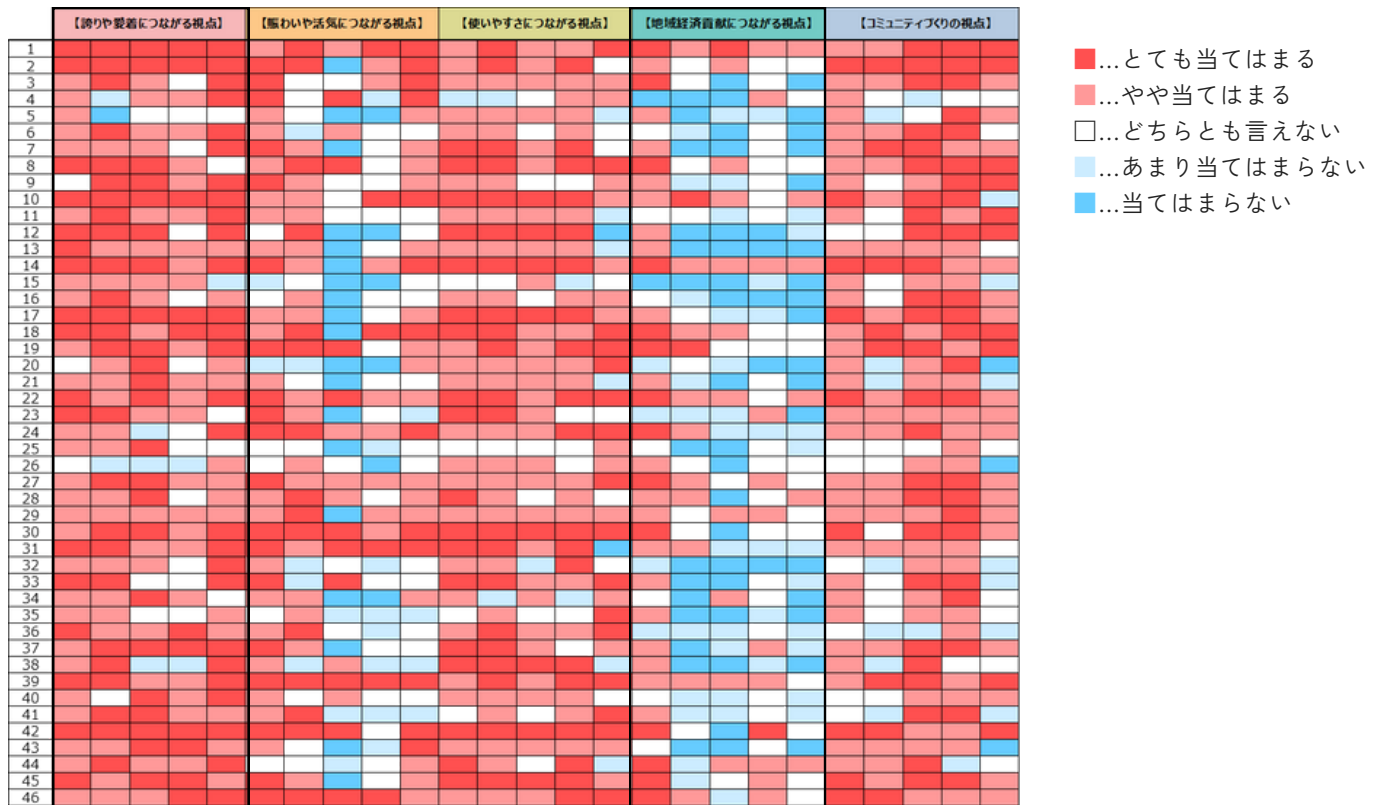


図4. 25指標ごとの結果

視点	指標	当てはまる・計
誇りや愛着につながる視点	1 図書館スタッフ・司書が適切にアドバイスを提供している	93.5
	2 地域の活動団体や地域の学校との連携がある	91.3
	3 郷土資料等、地域関連の資料が充実している	87.0
	4 地域に関わる様々な情報が広く深く集まっている	69.6
	5 まちのシンボルとして自慢できる建築である	87.0
賑わいや活気につながる視点	1 用事がなくても行きたくなる居心地のいい場所である	82.6
	2 幅広い年齢層を対象としたイベントや講座が充実している	69.6
	3 おしゃれなカフェが併設している	37.0
	4 地域のイベントで図書館が中核的な役割を果たしている	30.4
	5 多様な目的や、多様なジャンルの趣味をもつ人が集まっている	63.0
使いやすさにつながる視点	1 安心安全が確保された場所である	89.1
	2 どんな人でも快適に利用できる	91.3
	3 利用のシステムが分かりやすい	78.3
	4 施設内が綺麗で明るく、机や椅子が快適で、照明などの雰囲気が良い	82.6
	5 遅くまで開館している	65.2
地域経済貢献につながる視点	1 フリーWiFiや電源などの環境・設備が整っており、ビジネスでも利用できる	71.7
	2 地域の経済人の講座など、ビジネスが生まれる交流の場がある	26.1
	3 ビジネスに関わるアドバイスができるライブラリアンがいる	23.9
	4 図書館周辺のお店も活性化している	26.1
	5 稼げる図書館になっている	13.0
コミュニティづくりの視点	1 すべての子どもにとって居場所になっている	84.8
	2 多世代が開放的に交流できる場所になっている	56.5
	3 地元団体やボランティアが図書館と連携して活動している	91.3
	4 読み聞かせが充実している	93.5
	5 色々な人が図書館を使って表現できる場所や機会がある	58.7

## 注力している取組

各館に聴取した注力している取組では、「子ども・親子向けサービス」が84.8%と非常に高い結果となりました。続いて、「イベント・企画の充実」（39.1%）、「地域関連資料の充実」（28.3%）と続きました（図5）。

**RPI** 下位となった「広報・情報発信活動（SNSによる情報発信を含む）」などは、日常業務の中でなかなか手が回らないという事情もあるのかもしれませんが。

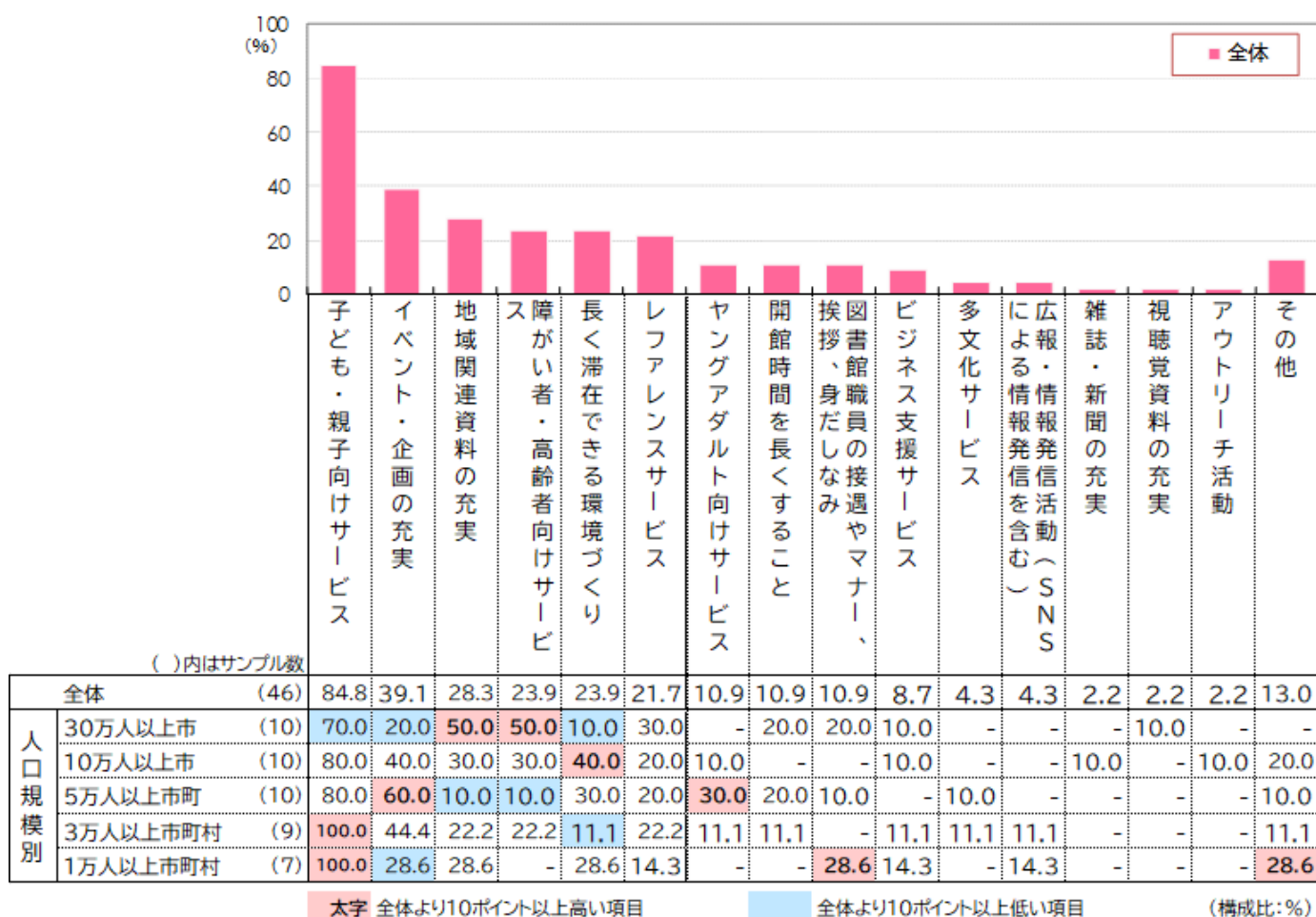
**花井** 広報活動は、これまでの図書館の業務の中であまり目を向けられていなかったのではないのでしょうか。というのも、これまでの図書館は「インドア的」で、館内でサービス提供しているのみでした。それが外へ向けた取組になっていないために、広報活動や情報発信への注力も下位になっているのではないのでしょうか。今後、図

書館の予算が減っていく中で、地域からの寄付行為も含めて予算を獲得していくという意味でも、広報・情報発信活動は必要ですね。

**守屋** 視聴覚資料などは納得感があります。利用者が配信サービスなどを通じて、各自の端末で視聴することが一般的になったため、下位になっているのだと思います。子ども向け・親子向けは図書館サービスの本道ということをあらためて数字で確認できたことには価値がありますね。今後の図書館運営を検討する上でも参考になりそうです。

**RPI** 今回は図書館運営側に回答していただきましたが、地域住民や利用者の意見も聴取し、そのギャップを把握できると、非常に有用なデータとなると思います。

図5. とくに注力している取組（最大3つまで）



## 4. 各指標の結果と考察

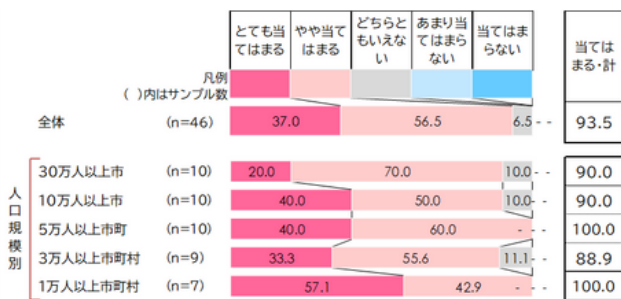
(フォーラム当日にコメントした指標について、当てはまる・計が高い順に掲載しています。)

### 図書館スタッフ・司書が適切にアドバイスを提供している

視点 誇りや愛着

結果 93.5% (全体) ※当てはまる・計

図6.【図書館スタッフ・司書が適切にアドバイスを提供している】集計



RPI 図書館の方の自負を感じる結果となりました。

守屋 1万人以上市町村で、当てはまる・計が100%となっている点は興味深いです。人口規模別が小さいことが、コミュニケーションの濃密さにつながっているのでしょうか。

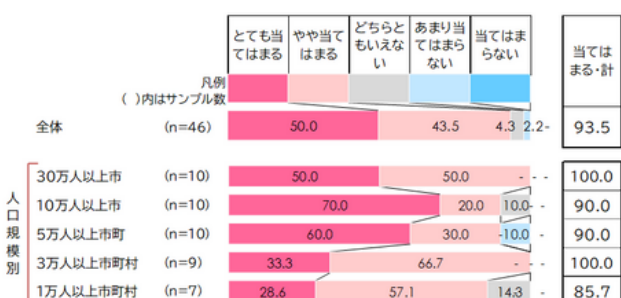
花井 この指標に関しては、図書館を利用する側にも聞いてみたいですね。また、「やや当てはまる」は、「本来であればもっとやりたい」という気持ちの表れでしょう。

### 読み聞かせが充実している

視点 コミュニティづくり

結果 93.5% (全体) ※当てはまる・計

図7.【読み聞かせが充実している】アンケート結果



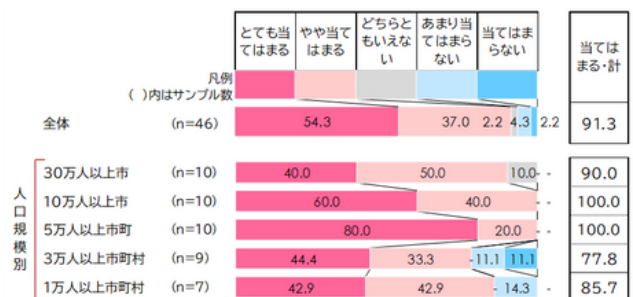
RPI 「あまり当てはまらない」との回答は、とくに充実させているというわけではないものの、通常通りに実施しているということでしょう。

### 地域の活動団体や地域の学校との連携がある

視点 誇りや愛着

結果 91.3% (全体) ※当てはまる・計

図8.【地域の活動団体や地域の学校との連携がある】集計



RPI この指標については、自由記入欄への記入が多く、図書館の皆さんの関心の高さがうかがえます。例えば愛荘町立愛知川図書館・秦荘図書館(滋賀県、1万人以上市町村)では、「学校の全クラスで司書によるおはなし会やブックトークを実施。小中学校の学校図書館を支援」しているとのこと。

### 滋賀県・愛荘町立愛知川図書館・秦荘図書館の事例

町内に4校の小学校、2校の中学校があり、従来より年に1度は各学校でおはなし会やブックトークを実施していました。2年前からはさらに、町立図書館が担当となり学校司書(図書指導員)を採用し、学校図書館に配置しています。これにより、小学校の学校図書館は月曜から金曜の朝8時から午後3時まで開館し、毎日、始業前から学校図書館が利用できるようになりました。先生と学校司書とのコミュニケーションも進んでいます。

愛荘町では、町全体の読書活動の振興を町立図書館が担当しており、学校図書館の振興も町立図書館がイニシアティブをとって行いました。今では、町立図書館による支援が行われる前の学校図書館には戻れないと先生方から言っています。

\*上記は、愛荘町立愛知川図書館・秦荘図書館からフォーラムでご発言いただいた内容をRPIでまとめたものです。

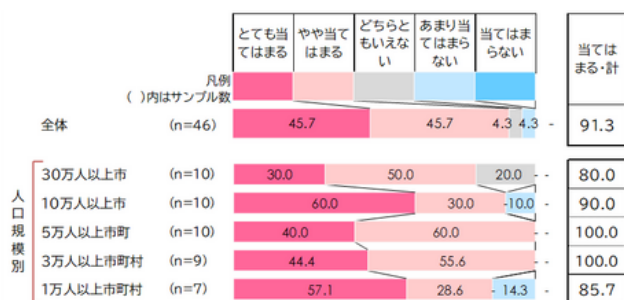


## どんな人でも快適に利用できる

視点 使いやすさ

結果 91.3% (全体) ※当てはまる・計

図9. 【どんな人でも快適に利用できる】集計



**RPI** 例えば、北見市立中央図書館（北海道、10万人以上市）では、快適な読書環境のためのグッズとしてゆたんぼを貸し出しているそうです。北見市らしい取り組みだと感じます。

**花井** 「どんな人でも快適に利用できる」というのは、ほんとうに重要なことです。例えば、赤ちゃんが泣くと嫌な顔をされたり、障がいをお持ちの方が館内を走ったりされると目くじらを立てられるといったことが以前はありました。それが今は、多様な人々が利用できるよに変わってきていると感じます。私が関わった館では、BGMをかけるなどして、館内の環境を変える取り組みを実施したことがあります。館の雰囲気づくりなどの工夫によって、この指標に対する「当てはまる」の割合はもっと上がるのではないのでしょうか。

**守屋** 身体障がいをお持ちの方以外に、精神障がいなど、身体的特徴ではわからない障がいを持っている方もいます。

**花井** 障がいをお持ちの方に対応したサービスを実践することも重要ですが、そうしたサービスがあること自体を広報していくことも大切です。

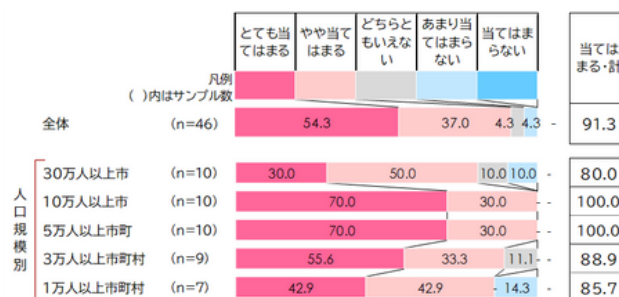
**RPI** 諫早市立諫早図書館（長崎県、10万人以上市）や、武蔵野市立図書館各館（東京都、10万人以上市）では、大活字本やデジジー図書、電子書籍サービスなどを用いて、積極的に対応されているようですね。

## 地元団体やボランティアが図書館と連携して活動している

視点 コミュニティづくり

結果 91.3% (全体) ※当てはまる・計

図10. 【地元団体やボランティアが図書館と連携して活動している】集計



**RPI** 関連する取組としては、学びの杜のいちカレード（野々市市立図書館、石川県、5万人以上市町）の「中学生から一般の方まで幅広いボランティアの方が積極的に図書館運営に協力してくれている」というものがありました。図書館へのボランティアの関わりという点についてはいかがでしょうか。

**花井** 最近では、運営をサポートするボランティアチームの設置を図書館で計画することがあります。また、お店やコミュニティセンターなどと合築した複合施設の図書館が増えているため、ボランティアに限らず、図書館外でのつながりは確実に増えていると思います。

**守屋** ボランティアというのは決して無償労働のことではなく、自主的な活動という意味です。砺波市立砺波図書館（富山県、3万人以上市町村）では、図書館オープン時の期間限定の「図書館お助け隊！」ボランティアから、以降も活動を続けたい方が「美化部」（本の配架）、「広報部」（本のPOPの作成）、「園芸部」（館内の植物の手入れ）の3部として活動しているとのこと。これは素晴らしいことだと思います。

**花井** 園芸部の活動は図書館にとってとても助かるんですね。本の配架をするのが「美化部」という名前も素晴らしい。

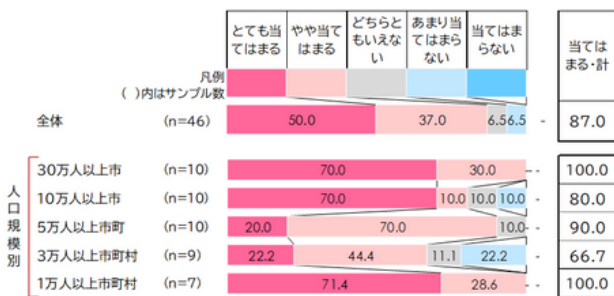
**RPI** ボランティアを通して、単に業務支援にとどまらず、利用者の交流も進みそうですね。

## 郷土資料等、地域関連の資料が充実している

視点 コミュニティづくり

結果 87.0% (全体) ※当てはまる・計

図11.【郷土資料等、地域関連の資料が充実している】集計



RPI この指標では、地域の特徴が図書館の資料にも反映されていることがわかります。斑鳩町立図書館（奈良県、1万人以上市町村）では、法隆寺や聖徳太子などの斑鳩関係の資料が閲覧できる「聖徳太子歴史資料室」があるそうです。

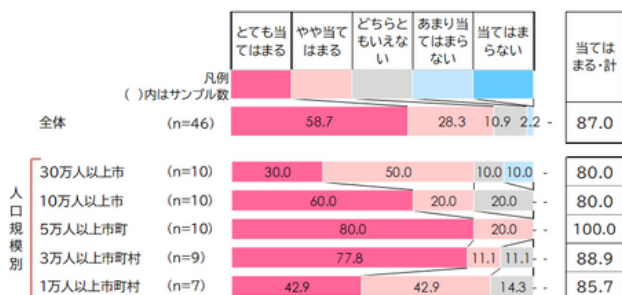
花井 すごいですね。学芸員の方がいらっしゃるのでしょうか。一方で、図書館の中には、郷土資料が目立たないところに置かれていることもありますが、地域の特徴を表す資料として目立つところにおいてほしいと思います。

## まちのシンボルとして自慢できる建築である

視点 誇りや愛着

結果 87.0% (全体) ※当てはまる・計

図12.【まちのシンボルとして自慢できる建築である】集計



RPI 当てはまるの割合を見ると、まちのシンボルとなっている図書館が多いようです。

花井 図書館の建物を見る際に、単にかっこいい、かわいい、有名な建築家による設計といったことだけでなく、まちのなかでどう機能しているのかといった点も考える必要がありますね。とくに施設の内部は運営とリンクしているのがいいのではないのでしょうか。

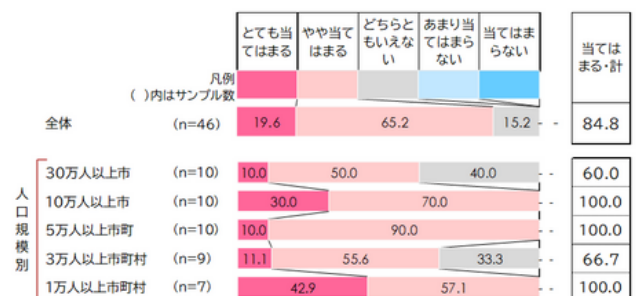
守屋 外国の映画を見ていると、その都市のシンボルとして図書館が登場する映画がとても多いんですよね。まちの中心に図書館があるというのは羨ましいです。

## すべての子どもにとって居場所になっている

視点 コミュニティづくり

結果 84.8% (全体) ※当てはまる・計

図13.【すべての子どもにとって居場所になっている】集計



## 神奈川県・大和市立図書館（大和市文化創造拠点シリウス）の事例

「絵本のまち」事業として、2022年度から「セカンドブック」、「創作絵本大賞コンクール」、「まちなか絵本スポット」を実施しました。「まちなか絵本スポット」は児童館、スーパー、歯科の待合など、市内にある子どもが集まる場所に、絵本を30冊入れた木箱を設置する取組です。

設置場所ごとに子どもの年代構成に合わせた絵本セットをつくって、1年間設置し、各場所で自由に絵本に触れてもらいます。最近では小田急電鉄の子育て支援の一環で、市内にある駅の授乳室にも置いており、市内に24か所設置されています。

通常の団体貸出では、貸出期間が短いこともあり、蔵書とは別に、この事業のために選書した絵本を1年間という長期で貸し出しています。

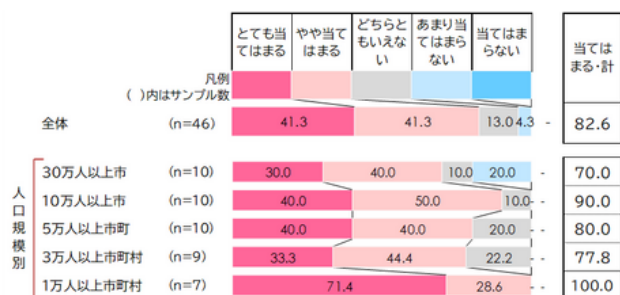
\*上記は、大和市立図書館（大和市文化創造拠点シリウス）からフォーラムでご発言いただいた内容をRPIでまとめたものです。

## 用事がなくても行きたくなる居心地のいい場所である

視点 賑わいや活気

結果 82.6% (全体) ※当てはまる・計

図14.【用事がなくても行きたくなる居心地のいい場所である】集計



**RPI** 「用事が無くても」というのが、サードプレイスとしての図書館として大事な点ではないでしょうか。この指標は、1万人以上市町村で「とても当てはまる」が71.4%と非常に高いのも特徴です。

**花井** 農業を営んでいる方には、雨が降ると図書館に来る人もいますね。

**RPI** 自由記入欄を見ると、館内で飲食可能としている館もあるようですが、こうした傾向は最近多いのですか。

**花井** 多くなっていると思います。蓋のついている飲み物を館内に持ち込める図書館や、会話が許可されている館も増えています。館内にカフェやパン屋さんが入っているところもありますね。飲み物に関しては館内利用時より、貸出している期間のほうが危ないですよ。それを考えると館内でマナーを守りながら、お茶を片手に本を読んでもらうのは、大変良いと思います。

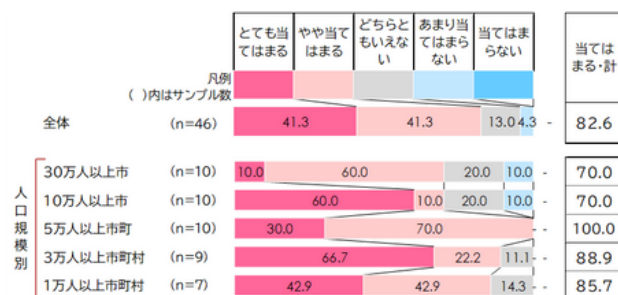
**守屋** 図書館のマナー・ルールは、その空間を共有している管理者と利用者が共通でつくっていくものだと思います。今のトレンドとしては、飲食や会話は基本的にはOKとし、静寂を求める人にはサイレントルームを提供するというのが多いですね。

## 施設内が綺麗で明るく、机や椅子が快適で、照明などの雰囲気がよい

視点 使いやすさ

結果 82.6% (全体) ※当てはまる・計

図15.【施設内が綺麗で明るく、机や椅子が快適で、照明などの雰囲気がよい】集計



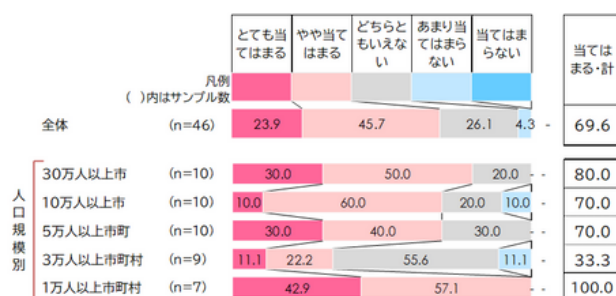
**花井** 雰囲気の点では色という要素も重要ですね。色んな色を使っている図書館もあれば、モノトーンに抑えている館もあります。

## 地域に関わる様々な情報が広く深く集まっている

視点 コミュニティづくり

結果 69.6% (全体) ※当てはまる・計

図16.【地域に関わる様々な情報が広く深く集まっている】集計



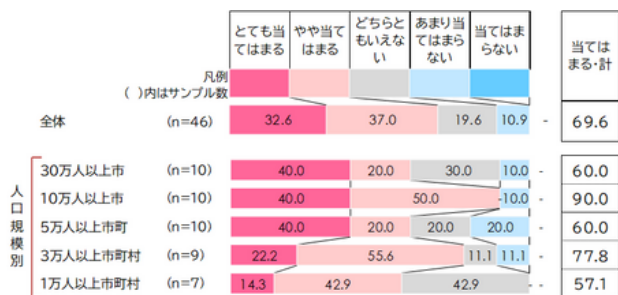
**RPI** 武蔵野市立図書館各館（東京都、10万人以上市）では、吉祥寺を中心とした「まち」の情報の収集をしているそうです。また、斑鳩町立図書館（奈良県、1万人以上市町村）では、これからのまちを考えるブックリレーとして、地元出身の研究者の協力を得て、外部の研究者やまちづくり関係者に「斑鳩町のまちづくりに役立つ図書」を推薦してもらい、書評とともに展示する事業を実施しているとのこと。

## 幅広い年齢層を対象としたイベントや講座が充実している

視点 賑わいや活気

結果 69.6% (全体) ※当てはまる・計

図17.【幅広い年齢層を対象としたイベントや講座が充実している】集計



RPI イベントについては各館で様々な取組みが行われていました。荒尾市立図書館（熊本県、5万人以上市町）では、書店と連携したイベントを実施しているようですね。

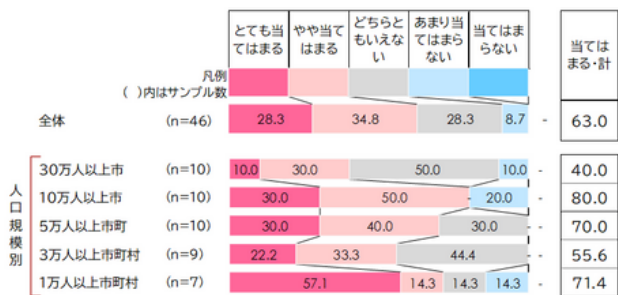
守屋 大和市立図書館（大和市文化創造拠点シリウス、神奈川県、10万人以上市）はほぼ毎日イベントをしているなんて、すごいパワーですね。

## 多様な目的や、多様なジャンルの趣味をもつ人が集まっている

視点 賑わいや活気

結果 63.0% (全体) ※当てはまる・計

図18.【多様な目的や、多様なジャンルの趣味をもつ人が集まっている】集計



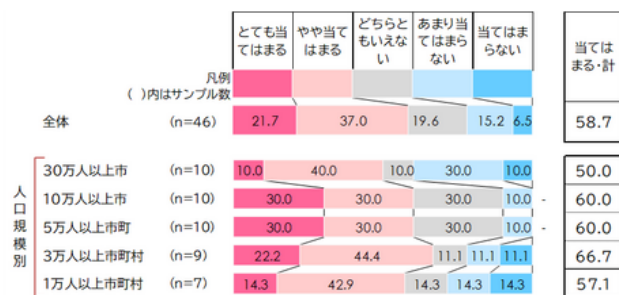
RPI 本だけではなく、図書館で行われている様々なイベントなどでひとが集まっているのですね。

## 色々な人が図書館を使って表現できる場所や機会がある

視点 コミュニティづくり

結果 58.7% (全体) ※当てはまる・計

図19.【色々な人が図書館を使って表現できる場所や機会がある】集計



RPI 音楽スタジオ・キッチンスタジオ・創作スタジオなど住民のニーズに応える貸室の充実（石川県・学びの杜のいちカレード（野々市市立図書館）、5万人以上市町）や、富山県・砺波市立砺波図書館のゲーム部など様々な取組みが寄せられました。これからの図書館は、多機能になっていくのでしょうか。

花井 ジャンルを限定せず、住民の生活の役に立つものを、どうサービスにつなげていくかが重要ですね。

守屋 公民館活動との一体化も進んでいます。

花井 図書館と公民館は相性がいいですね。共有できる機能も多いと思います。

## 5. 図書館が今後注力すべき取組

RPI アンケートの結果から、今後図書館が特に力を入れていくべき取組は何だと思いますか。

花井 従来の図書館は蔵書規模などで評価していましたが、これからはどんな空間をつくるかが重要になると思います。そのためには本棚を減らすこともあり得るのではないのでしょうか。海外事例も含めて、図書館の空間を議論していきましょう。

RPI 空間ということ？

**花井** 絨毯が敷いてあって、そこで寝転がったり、お茶を飲んだりするだけでもいいと思います。そうした空間をつくるために、蔵書数を減らすということもあるでしょう。蔵書数の制限があるとなると、行政資料や郷土資料など、その街にしかないものの優先度が高くなり、ベストセラーなどどこでも出会える本は置かないなど、割り切った空間づくりが必要になります。普段図書館を利用しない方も来館したくなるような、サードプレイスとしての図書館の空間づくりをもう一度議論するときではないでしょうか。

**RPI** 一般に、図書館の蔵書数の基準はあるのですか。それはそんなに厳しい縛りなんですか。

**守屋** 町の人口規模に応じた蔵書冊数については、暗黙の了解値みたいなものがありますね。

**花井** 新しい図書館をつくる際には、議会からも蔵書を拡充してほしい要望はありますね。

**守屋** 図書館の評価は、貸出数や来館者数がほとんどですが、そうした定量的なもの以外でも評価できるというですね。

最近読んだ『集まる場所が必要だ—孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学』（エリック・クリネンバーグ著、2021年）という本では、ポストコロナの公共空間の重要性を指摘しています。リアルサイトが持っている重要性にもっと着目すべきだと思いますね。

**花井** コロナを経て、その点はだいぶ認識されている気がします。

**守屋** 学校や地域に馴染めないときの「避難所・逃げ場所」としての図書館やコミュニティが集まる場としての図書館など。率直に言うと、読書という行為はこれからますますサブスク化・デジタル化が進むと思います。読書環境が大きく変容していくなかで、今後の図書館の役割をどう考えるかが重要です。

**RPI** ポイントは「リアル」ですね。リアルな空間での様々な出会いや、情報や知に導いてくれるスタッフなどがいれば、集まる意味が出てきますね。

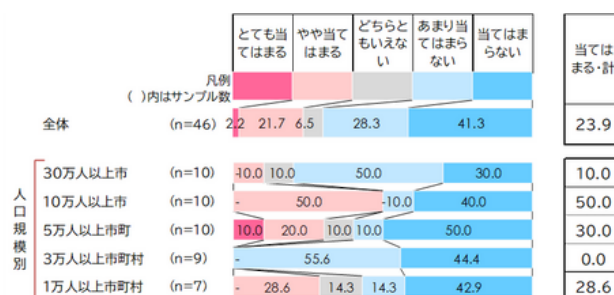
**守屋** 蔵書数を求めるのは、メタバース図書館などをつくったほうが経済効率上良いかもしれません。

## 経済的な観点での図書館の取組み

**RPI** この点については、図書館による地域のビジネス支援と、図書館自体が稼げるようになるという2つのポイントがあると思います。

**花井** 図書館のビジネス支援でもっとも有名なのは鳥取県立図書館ですね。今回のアンケートでは「ビジネスに関わるアドバイスができるライブラリアンがいる」は低い結果となりました。やはりビジネス・ライブラリアンや、ビジネスの専門家の力を借りて、サービスを提供することが必要でしょう。

図20 【ビジネスに関わるアドバイスができるライブラリアンがいる】集計



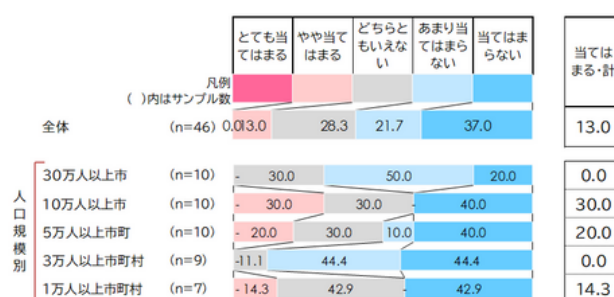
**視点** 地域経済貢献

**結果** 23.9% (全体) ※当てはまる・計

**RPI** 図書館の職員に求められる役割も変わってくるのでしょうか。

**花井** そうですね。チームを組むことが重要です。博物館の学芸員と同様に、図書館司書にも児童書に詳しいなど、専門分野がありますから、館長などマネジメント職の人が、スタッフの配置や要求をしていく必要があるでしょう。

図21 【稼げる図書館になっている】集計



**視点** 地域経済貢献

**結果** 13.0% (全体) ※当てはまる・計

**守屋** 「稼げる図書館」というのは非常にパンチのあるワードであり、物議をかますのではないかと考えていました。図書館は本来的には、稼ぐための場所ではないですし、公共施設に「稼ぐ」という理屈を持ち込んで、ダメになった例もたくさんあります。ですので、このキーワードが良いのかどうかはいろいろな意見があってしかるべきだと思います。

一方で、フレデリック・ワイズマン監督の映画『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』を見てみると、それぞれの分館が地域課題に応じて様々なプロジェクトを立ち上げ、それを地域の企業に持ち込み、ファンドを獲得するというシーンがあります。持続可能な財源の確保という点では、図書館の自律的な運営のためにも、取り組むべきことだと思います。

**RPI** まさに図書館の持続可能性を高めるために、お金だけでなく、様々な連携が求められているということでしょうか。

**花井** 図書館の予算がないのはどこも同じだと思いますが、守屋さんも言われたような、図書館の規格に対して寄付を得られるような取組みも重要でしょう。

**守屋** 図書館はデジタル田園都市のコア・プラットフォームなのではないでしょうか。人口減少社会においては、グローバル経済だけでなく、ローカル経済の循環を作っていくことが大事になると思います。そうした中で、図書館が地域経済、コミュニティの中心にあるようなビジョンを持ってはいかがでしょうか。

**花井** 仰る通りで、図書館はローカルに根差して機能していくものだと思います。それはアナログでもデジタルでも変わらないですね。

**守屋** 図書館がいかに大事かというコンセンサスをどうつくっていくか、ですね。

**花井** それには、広報・情報発信が重要です。図書館のアンケートでは、利用者アンケートが一般的ですが、利用していない人にもアンケートが必要です。

**RPI** 一方で、多くの人にとっては図書館は「本を読むところ」だと思います。図書館が地域の拠点となるためには、図書館の多様な機能を伝えていくことが必要ではないでしょうか。

**花井** その通りですね。「ネットがあれば図書館は不要」、「本なんて読まない」といった意見もまだまだあります。

**守屋** 今回、アンケートを実施した25項目以外にも、図書館現場からの項目案もいただきたいですね。

**RPI** ぜひお願いしたいですね。あらためて、アンケートにご協力いただいた図書館の皆様、ありがとうございました。本日もご参加の皆様もありがとうございます。

---

株式会社アール・ピー・アイのウェブサイトでは、地域元気指数調査について、以下の情報を提供しています。ぜひご活用ください。

<https://rpi.co.jp/chiiki-genki/>

#### 都道府県別/市町村別ランキング

最新の調査結果のランキングを公開しています。

#### データビジュアル

最新の調査結果を含む経年の変化を都道府県別に示すデータビジュアルを掲載しています。

#### オープンデータ

調査結果を行政機関や民間企業の皆様に広くご活用いただくことで、地域がより一層元気になる一助といたく、一部をオープンデータとして公開しています。以下のガイドラインに沿ってご利用ください。

---

このレポートに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社アール・ピー・アイ

TEL 03-5212-3411 FAX 03-5212-3414

E-mail [genki@rpi.co.jp](mailto:genki@rpi.co.jp)

